

シーン - 8 特別名勝「松島」マツ林再生緊急対策事業

事業目的

本事業は、急速に拡大する松くい虫被害から特別名勝「松島」地域の景観を形成するマツ林を守り、後継樹の育成を図ることにより、当地域の観光振興を側面から支援しながら、宮城の豊かな自然環境の象徴であり本県が誇れる地域固有の財産である「松島」の景観を次世代に引き継ぐための取り組みです。

事業効果

CO2削減量	0.2t-CO2
その他 (新規植栽本数)	100本

事業内容

平成26年度事業費 23,610千円

松くい虫被害木の緊急伐倒駆除(実施主体:県)
 当地域において急速に拡大する被害への対応として、特別名勝「松島」区域内における緊急的な伐倒駆除事業を実施する。
 [平成26年度]事業量：600m³ 事業費：18,000千円

マツ林再生対策(実施主体:県)
 松くい虫被害やウミネコのフン害により植生荒廃が進む島嶼部において、新たなマツ林の再生技術(植栽・定着)を検討し、観光船航路上にあり景観上優先的に対策が必要な島を対象に、モデル施工及び新技術によるマツの植栽を進める。
 事業対象地：布袋島、恵比寿島、大黒島、毘沙門島、伊勢島
 [平成26年度]事業量：一式 事業費：5,610千円



松島町(手前:恵比寿島,奥:大黒島)

